

平成21年10月26日

審査付論文部門通常セッション 発表者各位

(社) 土木学会環境工学委員会
委員長 津野 洋
(公印省略)

「第46回環境工学研究フォーラム」開催について (ご連絡)

拝啓 時下益々ご清栄の段お慶び申し上げます。

さて、標記研究フォーラムは、来る11月27日(金)～29日(日)の期間、新島学園短期大学において開催する運びとなりました。発表者の方は下記の点につきご留意の上ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- (1) 「論文発表ガイドライン」をお送りしますので、ご参照の上ご準備下さい。昨年度から審査付論文部門は2会場での発表とし、1発表あたりの持ち時間は総計15分間へと変更いたしました。貴殿の発表時間および討議時間は下記の通りです。十分にご注意の上、ご準備ください。

【貴殿の発表・討議時間】 発表時間10分 討議時間5分

- (2) 発表は必ずPowerPointを使用してください。会場に用意されているパソコンとPowerPointの様子は以下の通りです。これに対応可能なファイルをご用意下さい。

OS: WindowsXP SP2 PowerPoint: PowerPoint2003

ファイルはUSBフラッシュメモリで下記の時間帯に会場までお持ちください。使用するUSBフラッシュメモリは、予め各自において、最新のウイルス対策ソフトを用いて、必ずウイルス感染していないことを確かめておいてください。なお、会場のパソコンへのファイルのコピーは会場アルバイトが対応します。

・ 11月27日 8:50～9:20 または 12:25～13:10 (第1会場と第4会場分のみ)

・ 11月28日 11:45～12:20

・ 11月29日 8:15～8:50

ファイル名は「講演番号+発表者名」(例えば、A01_FUJII.ppt など)としてください。

- (3) 既に案内されているように、フォーラムの事前参加申込の締切は10月29日(木)です。詳細は環境工学委員会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/committee/eec/index.html>) をご覧下さい。事前申込の締切が過ぎてしまった場合には、当日、会場受付にて当日参加申込を行ってください。

●**当日申込 参加費 一般: 9,000円 学生: 6,000円 (論文集・講演集代として)**

- (4) プログラムの最新版は環境工学委員会ホームページ (<http://www.jsce.or.jp/committee/eec/index.html>) にてご確認下さい。

- (5) 査読・修正時に用いた受付番号とプログラムの講演番号とは異なりますのでご注意下さい。

- (6) お問合せ等は下記担当職員あてにお願いします。

土木学会事務局 研究事業課 佐々木 淳 (環境工学委員会担当)

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 (外濠公園内)

TEL: 03-3355-3559 / FAX: 03-5379-0125 / E-mail: ssk@jsce.or.jp

以 上

第46回環境工学研究フォーラム
論文発表ガイドライン

【審査付論文部門通常セッション】

1. 発表は、WindowsXP SP2、PowerPoint2003に対応するPowerPointを使用する。
2. 発表ファイルは、USBフラッシュメモリで下記の時間帯に会場まで持参する。
使用するUSBフラッシュメモリは、予め各自において、最新のウイルス対策ソフトを用いて、必ずウイルス感染していないことを確かめておいてください。なお、会場のパソコンへのファイルのコピーは会場アルバイトが対応します。
 - ・ 11月27日 8:50～ 9:20 または 12:25～13:10（第1会場と第4会場分のみ）
 - ・ 11月28日 11:45～12:20
 - ・ 11月29日 8:15～ 8:50ファイル名は「講演番号+発表者名」（例えば、A01_FUJII.ppt など）としてください。
3. 発表者は、当該セッションの10分前までに会場に集合する。
4. 論文発表については、いかなる場合にも、各セッションの座長の指示に従う。
5. 1演題の発表時間は、論文発表とその後の質疑応答を含めて15分間が割り当てられる。
6. 発表者は、10分間を使って論文発表を行う。
 - (1) 論文集（講演集）を用いた発表は避け、必ずパワーポイントのスライドを用いた口頭発表とすること。
 - (2) 提示したパワーポイントのスライドの内容については、必ず説明を加えること。どんなによい図であっても、短時間の提示だけでは聴講者が理解するのは困難である。
 - (3) パワーポイントのスライドに記入された文は、言い換えずにそのまま読み上げ、必要があれば補足説明を加える。
 - (4) 口頭発表の速度は、1000字を3分で述べるのが一つの目安となる。
7. 質疑応答時間は、5分間である
8. 論文発表時間の超過は認められない。従って、論文発表の途中であっても座長によって発表を打ち切られることとなるので十分に注意されたい。

以上